

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-12-31

特集私たちのみた世界：アジアのプロフィール：3. タイガー・バーム・ガーデン：香港

佐久間, 和子

(出版者 / Publisher)

法政大学地理学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

JOURNAL of THE GEOGRAPHICAL SOCIETY OF HOSEI UNIVERSITY / 法政地理

(巻 / Volume)

8

(開始ページ / Start Page)

53

(終了ページ / End Page)

54

(発行年 / Year)

1967-03-21

ナム正月休戦が解かれる前日であつた。

東京慶大才一高等学校 青木千枝子

3 . タイガー・バーム・ガーデン - 香港 -

眼下に広がる地図—香港—。飛行機の翼がキラリと光つた。林のように高いビルディングがぬきん出ている。青い海に浮ぶ大小の島々……。皇領植民地 (crown colony) 香港は香港島、九竜、新界及び付属島嶼からなる。香港島は東西18 Km、南北3~9 Km、75 Km²の面積を持ちその南岸は樹木のない火山質の丘陵が続き、アバデインの漁港というよりはむしろ、近年高層ビルの住宅が続々建設され、海水浴場やゴルフ場を備えたレジャー・センターとして賑わいを見せている。北岸のヴィクトリア・ピークからヴィクトリア港に至る一帯は行政、金融、商業、貿易のセンターで、とくに総督官邸のあるセントラル地区は、香港の動脈となつている。九竜のオールド・カオルーンは長い間軍隊の駐屯地・訓練場であつたが戦後の新都市計画によつて工場地帯として生まれ変わり、新界をつなぐ主要道路はショッピングの中心地として賑わつている。ここに啓徳空港がある。そして新界、ここは香港のイメージとはかけ離れた古々しい田園地帯である。樹木もまばらな丘陵地帯が広がり、栽培農業が営まれている。

1966年1月、明るい陽ざしがさんさんとふりそそぎ、ふり上げばコバルトブルーの空が限りなくまぶしい。カラリとした道路の片側に2、3台のバスが並んでいる。ここはタイガー・バーム・ガーデンである。バスの窓からチラリと顔が覗いた。バラバラとかけ寄る数名の子供達、年はいずれも8~12、3才位であろうか。よれよれのブラウスと上着、つんつるてんのズボン、ズックをはいている。男の子も女の子もいる。彼らは皆、同じように肩からみやげもの



香港主要部

の入った箱を重そうにぶらさげ、手に持つている。血色の悪い顔に両方の目を光らせ、観光客の顔をずるそうに眺めまわす。1人の客がスライドと扇子を手にとつて「いくら？」と聞く。子供は人指しゆびをたて、ややおいて5本の指を広げる。「もう少しまけな。」という。子供は再び指を曲げ直した。客は、今度は自分の指を出した。すると子供達の中でも一番年上らしいひよろりとした男の子が顔を横に大きく振る。他の小さい子供達も同じようにかぶりを振る。その目は、一様に軽蔑しているように見える。子供達は、何処からやつてきたのだろう。あの丘の難民部落からか、労働者アパートからか、蛋民ではあるまい。―― 岸辺の淀んだ水の上に浮ぶ無数のジャンク、なぜなら蛋民は陸に上がることはない。彼らは彼らだけで生活を営んでおり、「一生陸の土を踏まずに死んで行くのだ。」と私達の案内者は話してくれた。―― しかし九龍のはずれにある丘の傾斜面の洞窟には、蛋民よりもひどい生活をしている人がいるという。その一方、ハッピー・バレー、レパルス湾には超一流の高級住宅街の高層アパートが並んでおり、目抜き通りには宝石店・カメラ・皮革店・豪華なクラブ、それらは夜ともなれば絢爛たるダイヤモンドの光をはなち、世界の三大美景の一つをかもし出す。

香港では社会貧富の差が特に激しい。港湾労働者やクーリー・車夫・漁夫・工場労働者の重労働によつて香港の中国人のブルジョアや英国の商社の王人達、外国のビジネスマンがふところを肥やしている。ここに階級間の摩擦が起きないのは、なぜだろう。あのムンムンするような体臭を持ちながら……。案内人の方さんは、こんな話をしてくれた。「あの小屋は難民の家です。」といつて指さした方を見ると、そのはだか山の急斜面にはびつしりと上から下まですきまのないぐらいに崩立て小屋がならんでいた。「あそこに住んでいる人達は中国本土では食べられなくて生命をかけて逃げて来たのです。」その言葉には、素朴な怒りの感情があらわれていた。と同時に香港にいる限り、食べることは出来るという一種あきらめにも似た気持がある。話によれば今日、350万という人のうち、100万以上は中国本土からの避難民であるという。

ある時「香港について」と聞かれてふと、とまどつてしまつた。地球上のあらゆる人間の欲望と富と貧しさのふきだまり、それでいて不思議な流動のあるところ。それが時に異様な臭いをもかもし出すかと思えば、又すまして静まり返つてしまふ。一人一人が、一つ一つが限りない焦燥と怒りを押えて……。そしてあきらめ、その底に沈むか、そのなかをたくみに泳ぐか。どの道を行こうとも自由に許される。新界の租借期限は1899年より99年間、その期限を近い将来に控え、香港はどのように変わるだろう。丘陵につらなる難民部落は、アバディーンの蛋民は、タイガーバーム・ガーデンの物売りの子供たちは、労働者は、一段と高くそびえる白亜の高層ビルは、そして街の中にかもし出される奇妙なバイタリテイある体臭は――。